

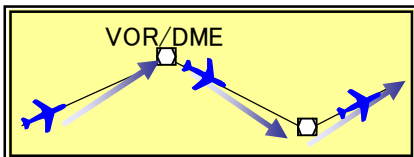
RNAV (広域航法) による飛行原理と効果

資料1

1. RNAVとは

<従来の航法>

受動的な飛行



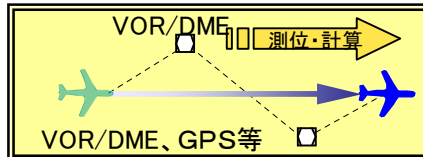
VOR/DME等地上施設からの電波を受信し、電波発信源に向けて飛行。

運航は、航法機器・地上施設に依存
[航法支援施設=特定]

技術革新

<RNAV(広域航法)>

自律的な飛行



VOR/DME、GPS等からの信号をもとに自機位置を測位し、計算処理して飛行コース等を柔軟に設定可能。

運航は、航法の性能(精度)に依存
[航法支援施設=不特定]

飛行ルート設定時の物理的制約が大幅に緩和

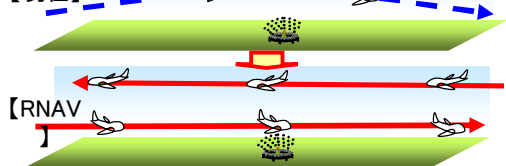
2. 導入効果

空の交通にとって ...

増加する航空需要への対応

交通流の円滑化

【現在】

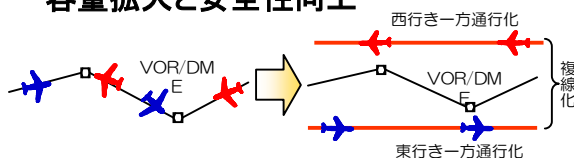


【RNAV】



地上無線施設上空での航空機の集中が解消される。

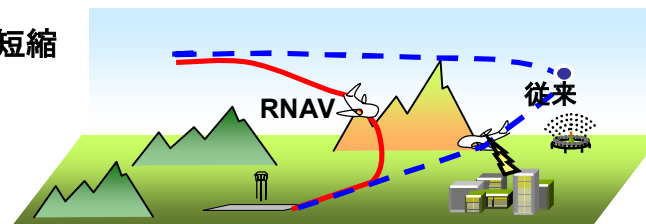
容量拡大と安全性向上



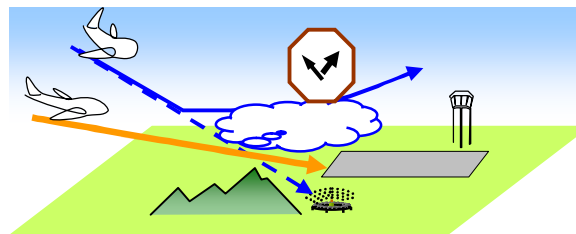
航空機にとって ...

運航効率・就航率の向上、環境負荷軽減

飛行時間・距離の短縮



欠航・遅延の低減



地上施設配置や地形による制約が緩和され、進入ルート、運航条件が改善される。